

Weekly Report



事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7F

TEL：052-211-3803

FAX：052-211-2623

MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL：http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：堀 慎治

幹事：田中 宏

クラブ広報委員長：榎田 篤弘

例会日：毎週木曜日(PM)12:30～

会場：ビルトシ名古屋

2021-22年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ

「瑞穂ロータリークラブを理解し、
瑞穂ロータリークラブライフを楽しもう」

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

2021-22年度
国際ロータリーのテーマ

「奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために
(SERVE TO CHANGE LIVES)」

第1987回例会

～疾病予防と治療月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2021年12月2日(木) 晴 第19回

司会：岡部光邦会場委員

斉唱：「君が代」「奉仕の理想」

ゲスト：一般社団法人 アイアイ・アソシエイツ創業理事 堤久美子さん

会長挨拶

堀慎治会長

皆さんこんにちは。昨日から今年最後の月、12月、師走に入りました。師走の由来は皆さんもご存知のように、僧侶のような普段落ち着いた人でも、この月は多忙で走りまわる様になるという意味から名付けられたという説があります。私たちの生活の中でも12月は年末の挨拶、忘年会、総会、クリスマス等行事が多く多忙なメンバーの方も沢山お見えになると思います。



また今日はピフィズ菌の日です。フランスの小児科のアンリ・ティシェ氏が明治32年の本日パリの生物学会でピフィズ菌の食品を食べることを目的としてお腹を良い状態に保ち健康を維持してもらうことを目的として江崎グリコが制定し2016年に日本記念日協会により認定、登録されました。先ほどもお話しした通り、忙しい月ほど特に健康に留意して過ごしていただきたいと思います。

新会員入会式

新会員：山本庸平さん

こんにちは、山本と申します。昨年4月に東海東京証券新瑞橋店に着任いたしました。以前弊社の支店長がお世話になっておりました。私は地元が愛知県瀬戸市ですので、どうしても地元でRC活動を行いたいということで鈴木さんをお願いをして、今回入会をさせていただき事となりました。



誕生日は1980年1月で、名古屋瑞穂RCさんも創立が1980年1月とこのことで勝手なご縁を感じております。

RCは奉仕の精神が第一だと思いますが、普段出会えない皆様と親睦を深めて、自身の成長に繋げられることが魅力と思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

幹事報告

田中宏幹事

- ・次週12月9日(木)18:00より、クリスマス家族会が名古屋観光ホテル3F「那古の間 西」にて行います。大人(女性)、お子様用プレゼントも準備します。今一度参加されるご家族の人数をご確認いただき、追加訂正がありましたら、事務局までお知らせください。
- ・次々週12月16日(木)第3回クラブフォーラム(年次総会)を名古屋観光ホテル2F「曙 東の間」にて行います。
- ・12月13日(月)瑞穂高校インターアクト例会があります。担当は、森裕之さんです。

- ・12月16日(木)19:30より熱田RC第2例会があります。担当は、平野好道さんです。
- ・2022年2月3日(木)に開催予定であった、4RC合同夜間例会は2月7日に開催予定であったIMが中止となったことを踏まえ、中止と決定いたしました。(尚、次年度幹事クラブは引き続き瑞穂になります。)
- ・会員の花井さんのご自宅住所の漢字に一部誤りがありましたのでメールボックスに配布いたしました。
- ・メールボックスに、延期されておりましたWFFのチラシを入れました。4月23日(土)24日(日)開催されます。
- ・会員入江理さんのお母様が、11月30日(火)96歳でご逝去されました。家族葬で執り行われるとのことでしたので、ご案内を控えさせていただきます。

出席報告

西川徹也出席委員

会員71名 出席51名 (出席計算人数55名) 出席率 79.7%

ニコボックス

西川徹也ニコボックス委員

- ・11月3日は妻の誕生日でした。素敵なお花をありがとうございました。 亀井 直人さん
- ・痛風が出てしまいました。 堀 慎治さん
- ・本日の卓話の講師に堤久美子先生をお招きしました。楽しくて年寄りの為になるお話をよろしくお願いたします。 松波 恒彦さん
- ・堤先生、本日の卓話を楽しみにしております。 どうぞよろしくお願いたします。 村瀬 俊高さん
- ・堤先生、本日の卓話を楽しみにしています。季節の変わり目で体調不良のお話を聞いています。 皆さん、ご注意ください。 田中 宏さん
- ・先週の指名委員会の懇親会参加の皆様、ありがとうございました。 鈴木 淑久さん
- ・東遊会の皆様ありがとうございました。 山口 哲司さん
- ・寒くなりましたね。 岩本 成郎さん
- ・昨日は今年最後の「あつた朔日市」を開催しました。事故もなく無事に終えることが出来ました。お越しいただいた皆様、ありがとうございました。 来年は2月1日に開催です!! 花井芳太郎さん
- ・内田さん早く元気になってください。 内藤晶文さん 新見光治さん 長瀬憲八郎さん

12月お誕生日おめでとう

平野 好道さん 泉 憲一さん 鳥山 政明さん 平安山京太さん

卓話

一般社団法人 アイアイ・アソシエイツ創業理事 堤久美子さん

「21世紀をどう生きる」～哲学を日常生活に～

一般社団法人アイアイ・アソシエイツの堤久美子と申します。私は哲学をベースとした教育プログラムを開発している会社の理事を務めております。家族関係心理士としてカウンセリングをしたり、コーチングをしたりと色々な仕事をさせていただいています。主に講座のプログラムを創作、実存主義をテーマにした教育を研究し創作しています。



2018年に『超解釈サルトルの教え』という本を出版させていただきました。2019年には、韓国で出版されました。サルトルは亡くなって40年以上になりますが、その哲学は色あせていくどころか、21世紀に入って世界が混迷を深めていくなかで、ますます重要性を増しているように感じます。「今の時代こそ、サルトルの哲学が必要だ」—その思いに突き動かされて、『サルトルの教え』を執筆しました。出版して3年たちましたが、おかげさまで3刷りまで重版を重ねました。来年には、この本の出版社である光文社から本をもとにした、サルトル哲学の動画を配信予定です。

今、この時代に生きる上で、日常に必要な哲学が実存主義だと思っておりますし、実存主義を基にした講座、プログラムを創作し、講演をしていきます。

哲学は、日常にあり、全細胞を使って間を立て、答えのない問いを問いつけるものです。そうゆう意味でも人間は全員哲学者であると思っていますし、そのように接しております。

現実社会で生きていく上でどのようにサルトルの哲学を使っていくのがいか、苦しい時、人生に絶望しそうな時にどのようにサルトルの哲学を助けとするか、こうした視点で解釈をしています。まさに「生きるためのサルトル」を、今後もお伝えしていくつもりです。先のまったく見えないこの時代。今の日本にこそ必要であると考えています。それは、サルトルの哲学のポイントでもある「自信を持つ」「自尊心をもつ」「自由に生きる」、こうしたことを日本人、特に若い日本人が見失っていると思うからです。

2013年に行われた日本を含む7カ国の、満13～29歳の若者を対象とした意識調査で、日本の若者は他の国の若者に比べ、自分を肯定的に捉えている人の割合が低いことがわかりました。たとえば、「自分自身に満足している」という問いに対して、イエスと答えた人の割合が、日本45.8%、韓国71.5%、アメリカ86.0%という結果でした。また「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」という問いでは、イエスが日本52.2%、韓国71.2%、アメリカ79.3%、「将来への希望」では、「明るい」と答えたのが、日本61.6%、韓国86.4%、アメリカ91.1%と、日本の若者は他国に比べてことごとく低い数字が出たのです。

自己肯定感を高める上で必要な自信や自尊心、それを持つ上で、まず必要なのは「自分は誰なのか」という問いかけをすること、つまり自分を知ることです。

サルトルの時代からうんとさかのぼって、今からおよそ2500年前、古代ギリシャのソクラテスのことですが、ソクラテス自身の著作は、一切残っていません。「真理は対話の中から現れるもの」とソクラテスは考えたので、対話を通じて自らの無知を覚る、内省する、知を高めるという方法をとりました。これが「無知の知」です。つまり、「自分がいかに何も知らないか」を知ることです。ソクラテスの弟子がプラトンです。プラトンが設立したもので、有名なのが「アカデメイア」です。学校の原型みたいなものアカデメイアは古代ギリシャの地名ですが、それがそのまま学校を指す言葉になり、今では英語の「アカデミー」つまり、大学や研究所など、学問や芸術に関する権威ある団体の総称として広く知られています。プラトンは、著作を一切残さなかった師、ソクラテスの姿を『ソクラテスの弁明』や『国家』などの書籍に著しました。ソクラテスの教えを現代に伝えたという意味で、最高の弟子と言えるでしょう。プラトンの後を引き継いだのが、アリストテレスです。アリストテレスは、人間が知を愛する存在であると考え、ここからフィロソフィアという言葉が生まれます。これは後にフィロソフィー、日本語で哲学という概念の元になります。いずれにしても、古代ギリシャを起点とするヨーロッパの哲学には、「無知の知」「知を求めるといった、「自分を知る」「自分で主体的に考える」という発想が脈々と息づいています。

ひるがえって、日本ではどうでしょう。日本人は欧米と違い、無宗教と言うか、八百万の神という考え方が、古代から今に至るまでずっと続いていると感じています。神様どうしが、自らの信者を増やすために競争をするというよりも、仲良く共存するというイメージでしょうか。

それゆえに、私たちは平和主義であり、皆に逆らわず、「不日をもって貴しとなす」という聖徳太子の教えを今も多くの人が共有している、そんな印象があります。その一方で、ヨーロッパの哲学にあるような、「自分を知る」「自分で

主体的に考える」という姿勢は乏しいかもしれません。

自分を知る前に、相手の気持ちを推察する、おもんばかりが重視されてきましたからね。何年か前の流行語大賞に選ばれた付度という言葉が、まさにそれです。流行語になったからといって、最近付度を始めたわけではなく、日本人は昔からずっと付度をしてきたのです。そんな土台に立つ日本人に、もしヨーロッパの個人主義的な考え方が融合したら、どんな人間になるのか。この融合を可能にしてくれるのが、サルトルの実存主義だと思います。

1989年に司馬遼太郎が「二十一世紀に生きる君たちへ」という短編を書きました。その後、この短編は、小学校5、6年生の国語の教科書に載りました。長編の歴史小説をたくさん書いてきた司馬遼太郎の作品の中で「洪庵のたいまつ」という適塾を舞台とした小説と「二十一世紀に生きる君たちへ」のこの二つだけは、ものすごい時間をかけて「21世紀の君たちへの遺言」として書いたと言われています。その「二十一世紀に生きる君たちへ」の中で、司馬遼太郎は「君たちは鎌倉武士のようにたくましく生きてほしい」「個を確立しなければならない」と語っています。この短編はまさに「実存が本質に先立つ」、司馬さん流の実存主義を説いた本だと思います。

私も、私流の実存主義の考え方、つまり、この21世紀は優しい心でみんなを思いやる、そんな心をもった個を育てていくことを多くの人に伝えたいという気持ちで、『超解釈サルトルの教え』という本を書かせて頂きました。

長い人生、厳しい世間の荒波を、心身ともに健康に、そして自分らしく生き抜くためには、誰もが哲学を持っておいたほうがいいです。私にとってはそれが実存主義であり、サルトルでした。

サルトルを勉強していなかったら、新しい会社や新しい仕事へのチャレンジをしていなかったと思いますし、会社を経営することも、マネジメントをすることもなかったと思います。ましてや人前で話をする、ラジオをやる、YouTube配信などでやらなかったと思えます。私の人生にとって、サルトル哲学は、自分の背中を思い切り押ししてくれる、困難に立ち向かう勇気をくれる、自分のパフォーマンスを最大限発揮させてくれる、そういう哲学です。私みなさんにサルトルの哲学、実存主義を心からお勧めするのは、そのためです。

実存主義は、自分である「個」の確立であり、個の発展です。利己主義と個人主義は大きく違います。個人主義とは・・・サルトルの実存主義に関して書かれた本の中に、竹内芳郎先生の『サルトル入門』という編著があります。その中に、実存主義の「根底の根底」ともいうべき言葉があります。その箇所が下記です。『実在論にとって、人間の事実とは、事実であると同時に価値であり、存在であると同時に実践でもある、両義的な性格を帯びている』個人主義は一人で発展するのではなく、「個」が発展する=コミュニティ(群れ)の発展です。個の発展がコミュニティの発展、コミュニティの発展が個の発展です。なぜなら、自分の存在は、自分以外の存在がいなかったら存在できないからです。

すべてのもとは、自分を知ることです。自分を知る道具が観察です。しかも自分の観察です。自分以外物を観察することは人間は慣れていますが、自分を観察するとは相当意識が必要です。自分が観察できるのは、自分の哲学を持つことであり、自信をもって、終わりなき改善の精神で生きていくことだと思います。そして、コミュニティの中で自分を分かち合うこと。

自分の言葉を生きること。自分らしく生きることが、自分の満足と比例していると思います。ぜひ、自分を表現して生きてください。

皆様とまたお会いできること楽しみにしております。ありがとうございます。

例会のご案内

■今週の行事 12月9日(木) クリスマス家族会

時 間：18:00～20:00

場 所：名古屋観光ホテル3階「那古の間 西」

■次週の行事 12月16日(木) 第3回クラブフォーラム(年次総会)

時 間：12:30～13:30

場 所：名古屋観光ホテル2階「曙 東」

■次々週行事 12月23日(木) 上期納会

時 間：18:00～20:00

場 所：八勝館